

2022年 7月 5日



たてくるジオパーク

だより 第48号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階
MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/

TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204
f https://facebook.com/tatekuro

☆立山黒部ジオパーク 令和4年度 定時社員総会 開催



菅原朝日町長



山岡さんの講演に聞き入る参加者

6月4日(土)に、令和4年度一般社団法人立山黒部ジオパーク協会の定時社員総会並びに講演会を朝日町で開催しました。令和3年度の事業・会計報告、並びに令和4年度の事業・予算案について報告し、会員の皆様の承認を得ることができました。ありがとうございました。

総会の後には、埼玉県立自然の博物館学芸員の山岡勇太氏の講演が行われました。「元専門員から見た立山黒部ジオパークの魅力ージオパーク秩父と比較してー」と題して、秩父と立山黒部のジオパークの特徴や優れているところ、まだ力を入れていかなくてはいけないところなどについて、昔と変わらずにこやかな笑顔と柔らかな口調でお話されました。秩父ではサイト看板の設置や広報番組の作成等、地域住民へのPRが上手に行われているので、立山黒部でもアプローチの仕方を工夫する必要があると思いました。

最後に立山黒部ジオパークの現在の活動の様子を報告し、山岡さんからアドバイスをいただきました。

<人材育成部会・ガイド部会>

新規ガイド養成講座、ジオガイドのスキルアップ講座を現在開催しています。黒部峡谷や立山での現地研修後、秋には新たに20名ほどの新しいジオガイドが誕生する予定です。

新たにガイドの体系を明確にし、お客さんのニーズに応えることができるように研修を進めていきます。



5月15日立山カルデラ砂防博物館 白石学芸員による「立山地区の哺乳類ー高山帯の生態系ー」

<研究教育部会>

上市町稲村の海底地すべり(スランプ構造)について秋田大学や信州大学の専門家による1回目の調査が完了しました。上市町の支援や土地所有者の協力を受けながら、2回目の調査実施を計画中です。



6月6・7日 地形と地層の確認と新たな調査内容の検討

一方で、出前授業についての要請も増えてきました。富山市や黒部市、上市町など、ジオパークのサイトを学習に活用していきます。

<保全部会>

3月に保全・活用計画が保全部会員によって承認され、109箇所のサイトカルテの内容充実に向けて改善を進めています。地域の方にサイトを知っていただきモニタリングに繋げていくことができるよう自治体や関係団体と連携を進めていきます。

<広報啓発部会>

4月に写真展を実施。たくさんの皆さんにジオパークを認知していただけるようサイトの可視化を行っています。

ホームページの改修では、「歩いて手繰る立山黒部ジオパーク見聞録」から5つのコースを選び散策ルートをつかりやすく表示しました。また、「おすすめコース」の写真を増やしサイトに飛ぶように先日ページの更新を行いました。この他にも、「エリア検索」の部分の改修を進めています。また一度覗いてみてください。



見聞録のミニツアーのページ



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



5・6月のイベントより

5/22 黒部扇状地トレイル

5月22日(日)黒部川扇状地研究所主催、立山黒部ジオパーク協会共催の黒部川扇状地トレイルが開催され、扇状地研究所から22名、当協会から2名が参加しました。爽やかな晴天のもと、水嶋一雄所長に解説をいただきながら、ゆっくりと歩を進めました。

午前9時に泊駅を出発。

黒部川新扇状地山沿いの里山古道を進み、越、南保、高畠、岩崎、辻、山崎新などの集落にかつて多くの人々が住んでいたことを知り、その暮らしについて学び、現在の状況と比較することができました。さらに山道に入り、花房の堤、谷江の堤を見学してかつての農業用水の確保について考えました。終点のバーデン明日まで3時間半をかけて14kmを歩ききりました。

扇状地の高低差を体感できたトレイル。上りの14kmはなかなかきつかったです。参加者の皆さんとよい汗を流した一日でした。



昔は使われていたため池も、今は減反で使われておらず、人々の生活の変化を感じました。



6～7月 黒部市小学生トロッコ学習

今年も黒部市のジオパーク学習が始まりました。これは黒部の魅力を子供たちに伝えようと、黒部市教育委員会と黒部峡谷鉄道、ジオパーク協会が共催して行っているものです。



雨どいを川に見立て、川の勾配と川の水の流れる速さや大きさの実験(たかせ小)

たかせ小学校では櫛平やトロッコ電車についての事前学習が行われました。黒部峡谷の場所やV字になる仕組み、黒部川の流れの実験などを行って現地学習に臨みました。当日はガイドさんのお話を聞きながら黒部峡谷の自然を体感しました。

7月には5つの小学校がトロッコ学習を行います。



ジオガイドによる黒部川の水の力とその働きについての解説(石田小)

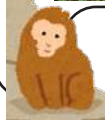


足湯体験「温かい! つるつるになったあ!」(たかせ小)

6/8 ジオパーク散歩② 美女平「巨木と台地～人と自然～」



鳥の鳴き声よりも元気なサル(サルの鳴き声の方が大きくよく聞こえました。皆さんも出会えるかも。



水野洋子ガイド解説のもと美女平駅から遊歩道を、約2時間かけて散策しました。始発となる美女平駅には多くの野生のサルが現れ、訪れた観光客を驚かせていました。

駅前で、美女杉伝説の説明を受けた後、遊歩道に向かいました。あいにくの曇り空と前日まで降っていた雨の影響で、遊歩道は所々ぬかるんでいましたが、新緑のさわやかな空気を感じながら散策を行いました。森の中では、鳥のさえずりが聞こえ、大きな杉の木に触れ、聴診器を使い杉の中に流れる水の音を聴くなど有意義な時間を過ごしました。同時に、自然の雄大さと生命の力強さを感じる時間になりました。

今後も、不定期ではありますが、ジオパーク散歩を開催し、一人でも多くの方にジオの魅力を感じていただける企画を行ってまいります。



6/11 海と空を楽しむ蜃気楼フォーラム

魚津市政70周年記念イベントが新川文化ホールで行われ、気象予報士天達武史さんが「空の楽しみ方～観天望気から蜃気楼～」と題して空模様から天気を予測する観天望気を説明しました。雲の様子によって天気は予想できるとのこと、コンピュータの予想もあるが、基本は「観天望気」。人の仕事とお話しされました。

また「みらいの天気とみらいの蜃気楼」のパネルディスカッションも開かれ、蜃気楼の仕組みや地球温暖化による出現予測、観光資源としての活用案などについて話し合われました。佐藤学芸員によると、蜃気楼の発生の源は雪解け水によって冷やされた空気と北寄りの温かい空気。寒気と暖気の境目は場所によって違い黒部で5m、魚津で10m、水橋で20m。北寄りの温かい空気は黒部方面から入ってくるそうです。



パネルディスカッション



新川高校による海洋ごみのアート体験コーナー



パブリックセッションオンライン

5/15 JpGU パブリックセッションオンライン

JpGU パブリックセッションでは自然災害などが取り上げられ内1つはジオパークに関してでした。「ジオパークで学ぶ日本列島の特徴と地球・自然・人の相互作用」として日本列島の成り立ちや、その地質と地形がそれぞれの地域の自然やそこに住む人々の暮らしにどう関係したかについて講演がありました。ジオパークらしい興味深い内容で、現在YouTubeで公開されています。各地域の様子をぜひ、ご覧ください。

https://www.youtube.com/playlist?list=PLDcnZVJFObCXtE7X_aoDFcplWLC5cqNjQf



イベントのお知らせ



立山自然保護センター

講演会と自然観察会のお知らせです。

7月31日(日) 立山黒部ジオパーク連携(1)
「立山の地図から読み直す防災と人間活動」
講師：富山大学 准教授 大西 宏治氏

9月3日(土) 立山黒部ジオパーク連携(2)
「里から山まで～立山の動物(哺乳類)～」
講師：立山カルデラ砂防博物館
主任学芸員 白石 敏明氏

各講演会の詳細や申し込み、交通手段等については、
立山自然保護センターのホームページを
ご覧ください。
<https://tateyama-shizenhogo-c.raicho-mimamori.net/>



立山カルデラ砂防博物館

企画展
「～植物の標本庫～ハー
バリウム立山」
2022年7月23日(土)
～ 9月25日(日)

立山の大地に根付いた多
様な植物を、標本とともに
紹介します。詳細につい
ては、立山カルデラ砂防博
物館のホームページをご
覧ください。

フィールドウォ
チング「立山の氷河
展望」参加者募集中
です。申し込みはこ
ちらから →



富山市科学博物館 黒部市吉田科学館

夏の星々がきれいにきらめくころとなりました。

両博物館ではそれぞれにプラネタリウムや星野観察会
の企画を行っています。梅雨明けが早く、暑い日が続い
ていますが、涼やかな博物館でゆっくり星を見て癒され
る時間もステキですね。詳細はホームページをご覧ください。

- * 富山市科学博物館
<https://www.tsm.toyama.toyama.jp/>
プラネタリウム&星空観察会
- * 黒部市吉田科学館
<https://kysm.or.jp/>
七夕の夜に&プラネタリウム&天文教室



夏の大三角



滑川市立博物館

富山県指定文化財(史跡)
「本江遺跡」指定50周年記念

特別展「再発見!本江遺跡」
2022年7月23日(土)
～ 9月19日(月・祝)

50周年を記念して多様な縄文
土器や石器、古墳時代の調査成果
などをご紹介します。講演会や展
示解説会、土器の整理など予定さ
れています。詳細については滑川
私立博物館へお問い合わせくださ
い。

TEL:076-474-9200

* 博物館では夏休みの自然教室も
計画されています。HPをチェックしてみてください。



ジオガイド佐伯克美さん☆祝ギネス世界記録認定☆

立山黒部ジオパーク協会の登録ジオガイド佐伯克美さん87歳が、この度ノルディックスキーの最
年長ギネス記録に認定されました。佐伯先生は、魚津市で校長先生として教職を終えられてから、
ノルデキックスキーを始められました。長くジオガイドとして立山等で活躍されている佐伯さんに
この度の受賞についてお祝いを伝えると、次のようにお話しされました。



「私の人生の大半は山。私がジオガイドやナチュラルリストやカ
ルデラ解説員、魚津の水守などをやっているのは全て山好きの延長線上にある。
夏は山歩き。冬は登山、雪山歩きの手段としてのスキーなので、山スキーもやれ
ばクロスカントリースキーもやる。その奥は深い。

私は積雪期に雄山山頂からスキーで山崎カールを滑り下りる。カールの壁のへ
りのU字の感覚を肌で感じている。それも70歳を過ぎてからの体験。正月に
は剣岳のてっぺんから剣沢カールを見下ろす。雪に覆われて、カールの形がとて
も分かりやすい。こんな体験があるから、この体験と感動を伝えることのできる
ジオガイドの世界が好き。

私のベースは山。スキーはおまけ。でもそのおまけで大きな賞が貰えたのはあ
りがたいこと。まだまだチャレンジを続けます。」

年賀状は毎年各国の山の写真。
マッキンリーに登ったという話をお聞
きた時は、びっくりしました。
昔からバリバリの山ガールです!



エネルギーでいつも笑顔の佐伯さん。「今日と同じ明日であ
りたい」と、毎日の日課は、スポーツジムで体を整えること。体
力や筋力が昨日よりも落ちていかないよう、日々の鍛錬の毎日だ
そうです。またツアーなどでお話を聞けるといいですね。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



不動堂遺跡 縄文時代の集落を復元

朝日エリア

発見当時は日本で最大であった大型建物跡



不動堂遺跡は、朝日町不動堂にある縄文時代中期（約 5500～4500 年前）の集落で、古い黒部川により形成された扇状地の末端部分に位置します。この周辺には地下水が湧いていることから、縄文人の生活を支えていたと考えられています。

昭和 48 年からの発掘調査により、土器・石器など多数の出土品とともに 19 棟の竪穴住居も発見されました。特に遺跡の中央部にある建物は、東西約 17m、南北約 8m、深さ 20cm の大形竪穴建物であり、発見当時としては国内最大の竪穴建物跡として注目されました。他の一般の竪穴居住の 4～5 倍もあり、内部には、4 基の石囲い炉があって、室内は 2 部屋に区切られているので、普通の住居ではなく集会場のような公共性の建物と考えられています。

当時の暮らしぶりや社会構造を知る貴重な遺跡として昭和 49 年に国の史跡に指定され、保護されています。

不動堂遺跡は立山黒部ジオパークの文化サイトになっています。

<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=73>



不動堂遺跡の近くには「まいぶん KAN」があります。朝日町の縄文遺跡の詳しい解説があり勾玉づくりなどの古代体験もできます。滑川市立博物館との交流展示も行われているそうです。



験もできます。滑川市立博物館との交流展示も行われているそうです。

協会会員企業の紹介

立山黒部ジオパーク協会の会員企業を、五十音順（昇順、降順）でご紹介しています。

情熱、技術、そして挑戦
—Design for the Future—

たいせつな風景を未来へ

建設総合コンサルタント
株式会社 **日本海コンサルタント**

代表取締役社長 黒木康生

〒921-8042 金沢市泉本町2丁目126番地
TEL (076)243-8258 / FAX (076)243-0887

支店 / 富山・新潟・上越・関東・長野・中京・関西・和歌山
福井・七尾・小松・加賀・白山・能美・野々市

<https://www.nihonkai.co.jp/>

一般廃棄物 戸別収集
事業系一般廃棄物 産業廃棄物
クリーンボックス
選別・破砕
浄化槽清掃
配管清掃
高圧洗浄
貯水槽清掃

きれいを、守る。
株式会社 公生社

滑川市一般廃棄物収集運搬業務許可・滑川市一般廃棄物処分業許可・
富山県産業廃棄物収集運搬業務/産業廃棄物処分業許可
滑川市浄化槽清掃業許可/下水道処理施設維持管理業者登録・浄化槽保守点検登録

富山県滑川市栗山 3596 TEL: 076-477-1114 / FAX: 076-477-1628

<編集後記>

川崎一朗著「立山の腑—地球科学から—」桂書房
三鍋久雄著「立山御案内」桂書房 の 2 冊を協会で購入しました。ご覧になりたい方は、協会の方へお立ち寄りください。

能登半島での地震が続き、驚いて富山の地震について心配されている方々も多いのではないかと思います。今回は、立山黒部ジオパーク協会の学術顧問竹内章先生に能登半島地震について解説をしていただく予定です。立山に守られているから本当に地震はないのか？教えていただきましょう。

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。特に、オンラインの事業や動画編集等について得意な方を探しています。

興味のある方は、立山黒部ジオパークのホームページをご覧ください。立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

